

5. 微量化学物質（ダイオキシン類・内分泌かく乱化学物質）

（1）調査概要

国土交通省では、「ダイオキシン類対策特別措置法」で定義されているダイオキシン類については平成11年度から、内分泌かく乱化学物質^{注25}として疑いのある物質については平成10年度から、全国一級水系で継続的に調査を実施している。

ダイオキシン類については、平成15年度に、それまでの調査を基に、監視地点、監視頻度、精度管理等の考え方を取りまとめた「河川、湖沼等におけるダイオキシン類常時監視マニュアル（案）」を作成し、以降はこのマニュアルに基づき調査を実施している（平成17年3月改訂）。

一方、内分泌かく乱化学物質については、平成10年度より全国一級河川直轄管理区間における実態調査、河川への流入実態調査等を実施している。また、平成14年12月には、それまでの調査結果を踏まえて、内分泌かく乱化学物質に関する調査の考え方をとりまとめ、以後の調査は「調査の考え方」に基づいて調査が行われている。「調査の考え方」はその後、平成20年4月改訂により対象物質の見直し、平成24年5月改訂により重点調査濃度等の見直しが行われている。また平成25年3月改定により、対象項目が見直された。

平成27年度の調査は以下のとおり実施した。なお、本調査結果は（独）水資源機構による調査結果を含む。

1) 対象物質

ダイオキシン類

「ダイオキシン類対策特別措置法」で定義されているダイオキシン類であるポリ塩化ジベンゾ - パラ - ジオキシン（PCDD）、ポリ塩化ジベンゾフラン（PCDF）及びコプラナーポリ塩化ビフェニル（Co-PCB）の3種類の化合物群について調査を行った。図-41に示すように、これらの化合物群は、いずれもベンゼン環を2つ有する化合物で、ベンゼン環に置換した塩素原子の数や位置の違いによって複数の同族体や異性体が存在する。また、環境中の存在量は微量であるが、毒性が強く、焼却、農薬等の製造、パルプの塩素漂白などで非意図的に生成し、残留性が高い物質である。

異性体ごとに毒性が異なるため、世界保健機関（WHO）によって提案されたTEF（毒性等価係数）を用い、各化合物の濃度をTEQ（毒性等量）で示したものを合計して、毒性を評価した。また、複数回測定した地点においては、

^{注25} 内分泌系に影響を及ぼすことにより、生体に障害や有害な影響を引き起こす外因性の化学物質。

水質は各回のTEQ合計値を平均し、底質は各回のTEQ合計値の最高値を抽出して、毒性を評価した。なお、平成20年4月にダイオキシン類対策特別措置法施行規則が改正され、排出基準に係るTEFがWHO-1998 TEFからWHO-2006 TEFに変更されたため、平成20年度以降の調査結果はWHO-2006 TEFを使用している。

各化合物の濃度の分析値を確定するに当たっては、学識経験者等の意見を踏まえて測定値の精度について検討を行った。

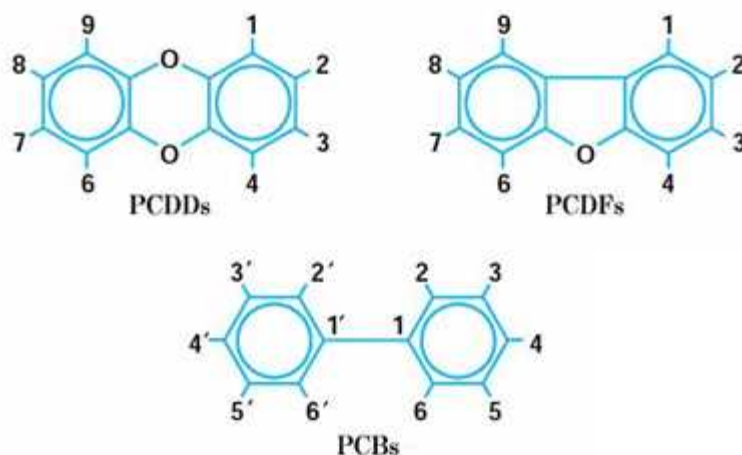


図-41 ダイオキシン類の構造図

ベンゾ(a)ピレン

「内分泌かく乱化学物質調査の考え方(案)」(平成20年4月)において、内分泌かく乱化学物質の調査対象物質及び調査頻度を整理した際、ベンゾ(a)ピレンはEXTEND2005^{注26)}において、リスク評価の対象となっていないことから、平成20年度調査より内分泌かく乱化学物質調査の対象からは除くこととなった。

ただし、IARCの発がん性評価でグループ1の「発がん性物質」に分類されること、また、ダイオキシン類様の作用を及ぼすことが知られていることから、ダイオキシン類の底質調査と併せて調査を継続することとしている。

注26 EXTEND2005: 環境省では、平成10年(1998年)5月「内分泌攪乱化学物質問題への環境庁の対応方針について - 環境ホルモン戦略計画SPEED'98 - 」を策定し(平成12年11月改訂)、化学物質の内分泌系への作用に関する研究、環境実態調査、試験法の開発等を推進した。この成果を受け、平成17年3月に「化学物質の内分泌かく乱作用に関する環境省の今後の対応方針について - EXTEND 2005 - 」を策定し、野生生物の観察、基盤的研究、影響評価、情報提供とリスクコミュニケーション等を推進してきた。
なお、環境省では、EXTEND2005におけるこれまでの取組状況を踏まえて、内分泌かく乱作用に関する検討を発展的に推進することとしており、リスク管理の検討に向けて評価手法の確立と評価の実施を加速化することをねらいとする「EXTEND2010」を平成22年7月に策定している。

内分泌かく乱化学物質
4物質（ビスフェノールA、17 β -エストラジオール、エストロン、o,p'-
DDT）について調査を行った。

これらの物質を選定した理由等については表-32に示すとおりである。

2) 調査地点および調査頻度

ダイオキシン類

基準監視地点については、全国の一級水系における、順流最下流の環境基準点（順流最下流に環境基準点がない場合は最下流の環境基準点）に加えて、国土交通省が直轄管理している湖沼の代表地点などを選定している。補助監視地点については、基準監視地点を補完するため、ダイオキシン類濃度が比較的高濃度となる可能性がある地点を選定している。

また、基準監視地点又は補助監視地点において、過去に要監視濃度^{注27}を超えた地点を重点監視状態にある地点（以下、重点監視地点という。）としている。なお、重点監視地点において、8回連続して要監視濃度以下の値を観測した場合は、一般の監視地点に戻している。

監視頻度については、基準監視地点（一般）は毎年1回（秋に実施）、補助監視地点（一般）は3年毎に1回（秋に実施）、重点監視地点は毎年4回（四半期に1回）調査を実施している。

表-31 ダイオキシン類の基準値

地点	環境基準	要監視濃度
水質	1pg-TEQ/	0.5pg-TEQ/
底質	150pg-TEQ/g	75pg-TEQ/g

ベンゾ(a)ピレン

ベンゾ(a)ピレンについては全国の一級水系におけるダイオキシン類の底質調査と併せて調査を実施しているが、特に要監視濃度を設けておらず、調査頻度は6年に1回としている。

内分泌かく乱化学物質

全国の一級水系における、順流最下流の環境基準点（順流最下流に環境基準点がない場合は最下流の環境基準点）に、河川の状況・特性から特に

注27 環境基準（水質1pg-TEQ/、底質150pg-TEQ/g）の1/2

必要と考えられる地点を加えて選定している。

このうち、国土交通省が重点的に調査を実施する際の目安として定めた重点調査濃度を、過去の調査で超えた地点を重点調査地点と呼び、それ以外の地点を一般調査地点と呼んでいる。重点調査濃度は表-32に示すとおりである。

一般調査地点の調査頻度は6年に1回（秋に実施）とし、重点調査地点の調査頻度は、毎年1回（秋に実施）としている。ただし、重点調査の対象となった物質が3回連続して重点調査濃度以下となった場合には、次年度より一般調査地点に戻すこととしている。

表-32 内分泌かく乱化学物質の調査対象物質及びその選定理由等

物質名	選定理由	調査頻度 (一般)	重点調査濃度 ¹
4-t-オクチルフェノール ²	ExTEND2005等によると、哺乳類には明らかな内分泌かく乱作用は認められなかったが、魚類に対しては内分泌かく乱作用を有することが推測されるとされている。	6年に 1回	0.992 μg/
ニルフェノール ²			0.608 μg/
ビスフェノールA			24.7 μg/
17-β-エストラジオール			0.0015 μg/
エストロン			0.0016 μg/
o,p'-DDT			0.0145 μg/

1 「内分泌かく乱化学物質調査の考え方（案）（平成25年3月改訂）に基づく重点調査濃度。

平成25年度以降は平成25年3月改訂の考え方（案）に基づき調査を行っている。

2 平成25年度以降は内分泌かく乱化学物質の調査対象物質ではなくなった。

(2) 調査結果

ダイオキシン類

) 基準監視地点（一般）

基準監視地点（一般）では、平成27年度調査で、水質123地点、底質125地点で調査を実施した。調査の結果、水質で要監視濃度を超えた地点はなかった。よって、来年度以降新規に重点監視地点として年4回の調査を実施する地点はなく、引き続き基準監視地点（一般）として毎年1回秋に調査を

実施することとする。

) 補助監視地点 (一般)

補助監視地点 (一般) では、平成27年度調査で、水質83地点、底質97地点で調査を実施した。調査の結果、水質で要監視濃度を超えた地点はなかった。よって、来年度以降新規に重点監視地点として年4回の調査を実施する地点はなく、引き続き3年に1回秋に調査を実施することとする。

) 重点監視地点

平成27年度調査では、表-33に示すとおり、水質19地点が重点監視地点となっており、年4回の調査を実施した。この内、水質については11地点が要監視濃度を超え、そのうち5地点は環境基準も超えた。

また、表-34に示すとおり、過去に要監視濃度を超える値が観測されたものの、それ以降、8回以上連続して要監視濃度以下の値が観測されることにより、平成28年度より重点監視状態を解除することとなった地点は1地点あった。

よって、平成28年度調査では、表-35に示すとおり、計18地点を水質に係る重点監視地点として、年4回の調査を行うこととする。

ベンゾ(a)ピレン

平成27年度は、表-36に示すとおり、計17地点において調査を実施し、計10地点において検出された。

内分泌かく乱化学物質

平成27年度は、一般調査地点12地点、重点調査地点8地点、合計で20地点において調査を実施した。調査結果は、表-37に示すとおり、調査対象物質のいずれか一つでも検出された地点は19地点あり、そのうち、5地点で重点調査濃度を超える物質があった。物質別に重点調査濃度を超えた地点を見てもみると、エストロンの5地点となっている。

また、表-38に示すとおり、平成26年度調査で重点調査濃度を超える物質のあった地点のうち、1地点は今回の調査では重点調査濃度を超過しなかった。

(3) これまでの経年変化と今後の対応

ダイオキシン類

ダイオキシン類に関する実態調査の平成18年度から平成27年度までの全調査地点数に対する環境基準超過地点数及び要監視濃度超過地点数の割合(水質)の経年変化を見ると、図-42に示すとおり、水質に関して明確な減少傾向は見られない。なお、底質に関しては、これまで環境基準を超えた地点はなく、平成14年度に綾瀬川槐戸橋で要監視濃度を超えたのみである。

また、現在設定されている地点とほぼ同一の基準監視地点での調査を開始した平成14年度以降を対象とし、最近10カ年である平成18年度から平成27年度の基準監視地点における濃度ヒストグラムの経年変化からは、図-43、図-44に示すとおり、水質に関しては減少傾向が示唆されるが、底質には明確な減少傾向は見られない。

ベンゾ(a)ピレン

ベンゾ(a)ピレンに関する実態調査を開始した平成10年度から今回までの全調査地点数に対する検出地点数の割合の経年変化には、図-45に示すとおり、明確な減少傾向は見られない。なお、平成10年夏調査の検出率が100%であるが、調査地点は1地点のみである。平成10年秋調査以降、複数地点で調査を行っている。

内分泌かく乱化学物質

内分泌かく乱化学物質に関する実態調査を開始した平成10年度から今回までの全調査地点数に対する検出地点数の割合の経年変化を見ると、図-46に示すとおり、明確な減少傾向は見られない。

また、図-47に示すとおり全調査地点数に対する重点調査濃度超過地点数の割合の経年変化についても明確な減少傾向は見られない。

内分泌かく乱化学物質に関しては、現在まで生態系全般に対する影響が明らかになっておらず、環境基準も設定されていないが、生物の生殖等への影響が考えられていること及び社会の関心が高いことから、将来的な対策等のためのデータの蓄積を図ることが重要である。

表-33 平成27年度ダイオキシン類に関する実態調査結果まとめ

		調査地点数		要監視濃度超過地点数		環境基準超過地点数	
		水質	底質	水質	底質	水質	底質
基準監視地点	(一般)	123	125	0	0	0	0
	(重点)	8	3	5	0	1	0
	計	131	128	5	0	1	0
補助監視地点	(一般)	83	97	0	0	0	0
	(重点)	11	2	6	0	4	0
	計	94	99	6	0	4	0
合計		225	227	11	0	5	0
重点監視地点		19	5	11	0	5	0

年に複数回調査をしている地点については、水質については年平均値で、底質については年最大値で要監視濃度及び環境基準からの超過を評価している。

重点監視地点は、基準監視地点（重点）と補助監視地点（重点）の合計である。

表-36 平成27年度ベンゾ(a)ピレンに関する実態調査結果

水系名	河川名	調査地点名	底質		
			採泥日	強熱減量 %	ベンゾ(a) ピレン μg/kg
北海道					
釧路川	新釧路川	愛国浄水場取水口	10月16日	1.8	ND
留萌川	留萌川	16線橋	10月7日	3.1	ND
東北					
北上川	北上川	登米	10月19日	3.4	1
鳴瀬川	鳴瀬川	鳴瀬堰(小野)	10月19日	0.9	ND
北陸					
信濃川	信濃川下流	平成大橋	10月21日	1.40	2
信濃川	信濃川下流	平成大橋(二重測定)	10月21日	1.40	2
信濃川	信濃川	旭橋	10月21日	4.10	14
信濃川	信濃川	立ヶ花橋	10月21日	7.6	22
中部					
菊川	菊川	高田橋	10月23日	1.60	ND
木曾川	木曾川	濃尾大橋	10月23日	0.70	1.4
木曾川	揖斐川	福岡大橋	10月23日	3.80	18.09
四国					
那賀川	那賀川	那賀川橋	10月21日	1.6	ND
物部川	物部川	深淵	10月1日	2.2	ND
仁淀川	仁淀川	中島	10月1日	1.0	ND
九州					
小丸川	小丸川	高城橋	10月14日	1.7	<0.5
大淀川	大淀川	相生橋	10月14日	1.5	<0.5
肝属川	肝属川	河原田橋	10月13日	1.4	<0.5
調査地点合計			17	17	17
検出地点合計			-	17	10
最大値			-	7.6	22
検出割合			-	-	58.8%

ND: 不検出(検出下限未満を示す)

表-37 平成27年度内分泌かく乱化学物質に関する実態調査結果まとめ

調査対象物質名	重点調査濃度 ($\mu\text{g/l}$)	調査 地点数	今回、重点調査濃度 を超えた地点数 (括弧内は平成26年度調査)	検出地点数 ¹	最大値 ($\mu\text{g/l}$)
ビスフェノールA	24.7	7	0 (0)	2	0.014
17 β -エストラジオール	0.0015	8	0 (0)	1	0.00034
エストロゲン	0.0016	17	5 (1)	14	0.0057
o,p'-DDT	0.0145	12	0 (0)	9	0.0013
全体 ²	-	20	5 (1)	19	-

1 検出下限値以上の数値が観測された地点数

2 同一の調査地点に複数の調査対象物質が該当するものがあるため、全体の数値は各調査対象物質の合計と一致しない。

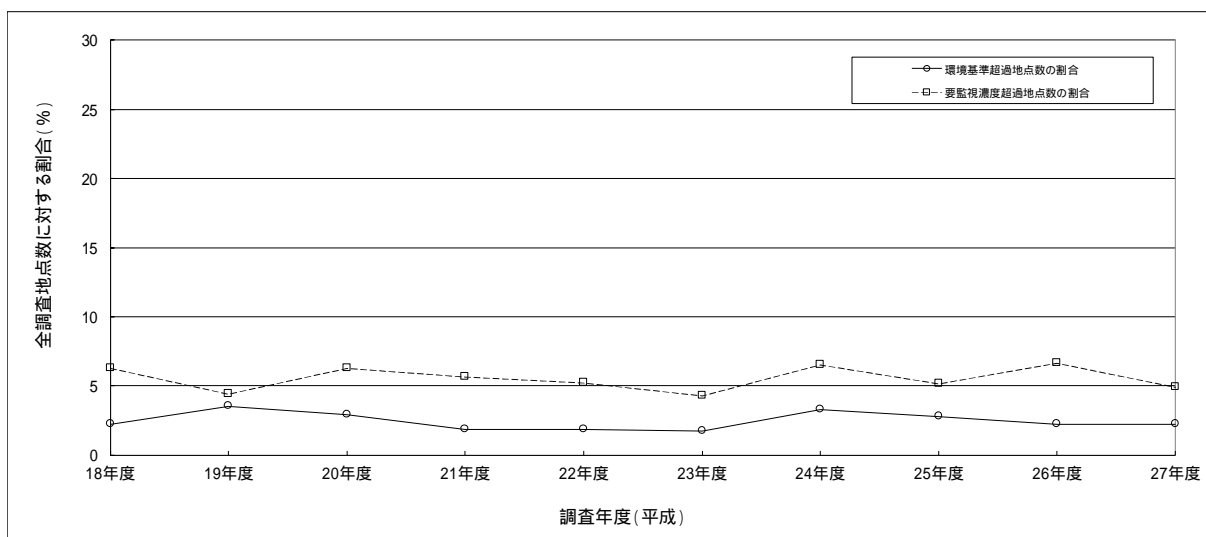


図-42 ダイオキシン類に関する全調査地点数のうち、環境基準超過地点数及び要監視濃度超過地点数の割合(%)の推移(水質)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
環境基準超過地点数	5	8	7	4	4	4	7	6	5	5
要監視濃度超過地点	14	10	15	12	11	10	14	11	15	11
全調査地点数	224	227	240	213	212	233	215	214	226	225
環境基準超過地点数の割合(%)	2.2%	3.5%	2.9%	1.9%	1.9%	1.7%	3.3%	2.8%	2.2%	2.2%
要監視濃度超過地点数の割合(%)	6.3%	4.4%	6.3%	5.6%	5.2%	4.3%	6.5%	5.1%	6.6%	4.9%

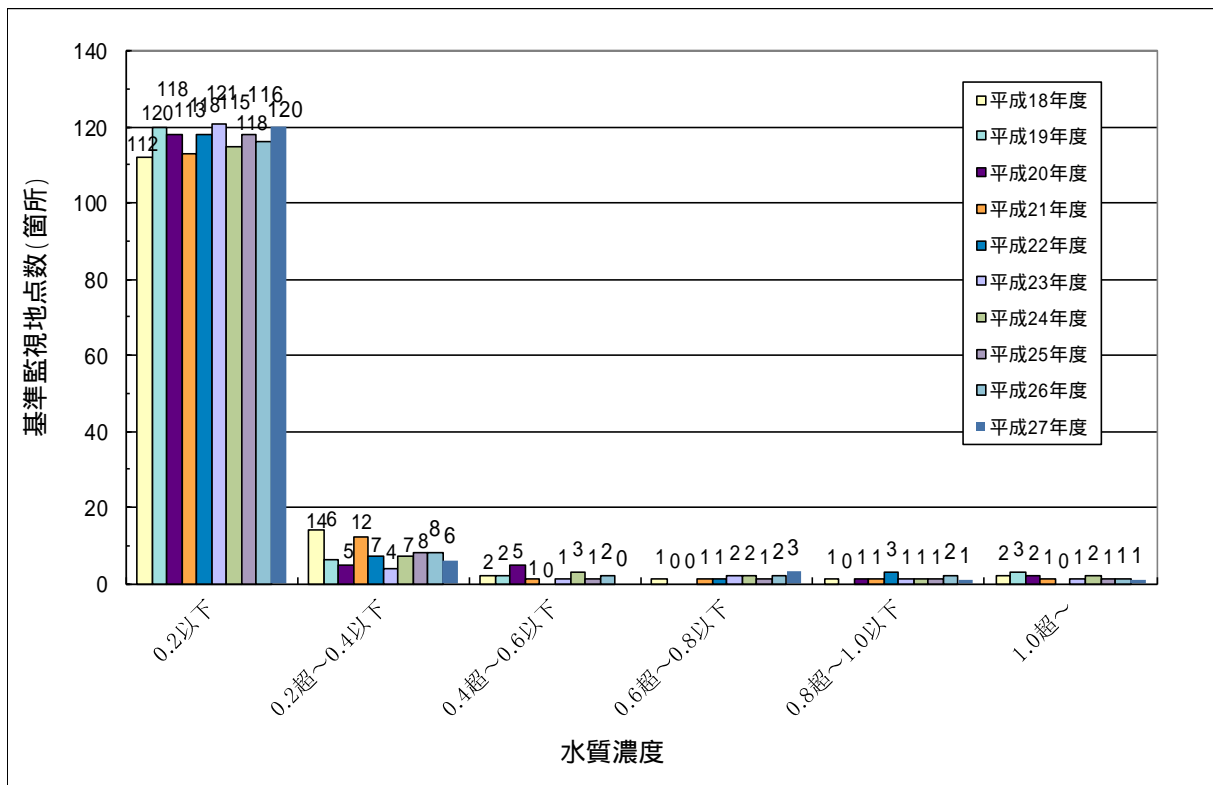


図-43 平成18年度～平成27年度水質ダイオキシン類調査（基準監視地点）
濃度ヒストグラム

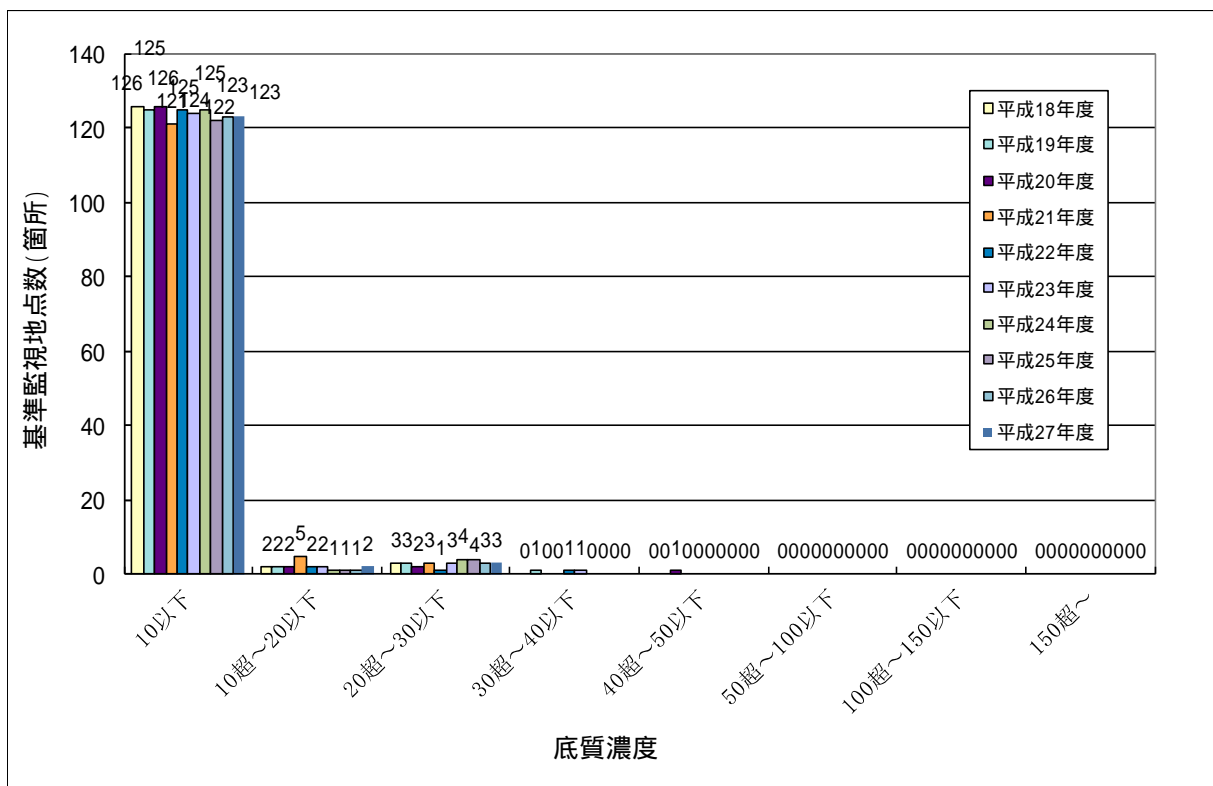


図-44 平成18年度～平成27年度底質ダイオキシン類調査（基準監視地点）
濃度ヒストグラム

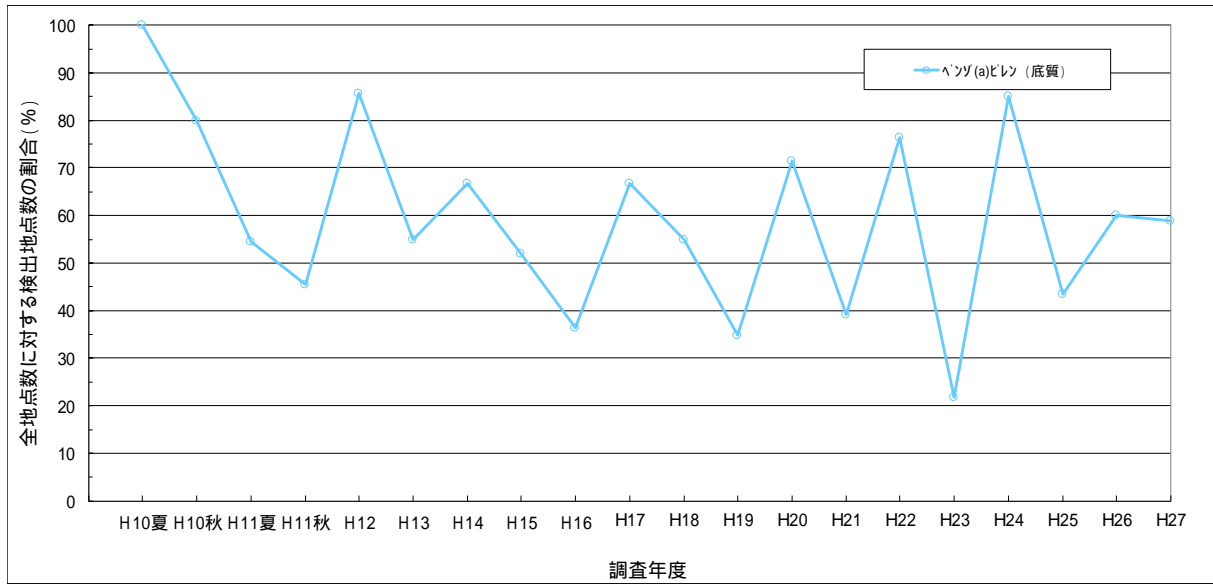


図-45 ベンゾ(a)ピレンに関する全調査地点数に対する
検出地点数の割合(%)の推移

	H10夏	H10秋	H11夏	H11秋	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
ベンゾ(a)ピレン (底質)	1	4	6	5	12	72	16	13	8	12	11	8	15
	1	5	11	11	14	131	24	25	22	18	20	23	21
	100%	80%	54.5%	45.5%	85.7%	55.0%	66.7%	52.0%	36.4%	66.7%	55.0%	34.8%	71.4%

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
ベンゾ(a)ピレン (底質)	9	13	5	17	10	9	10
	23	17	23	20	23	15	17
	39.1%	76.5%	21.7%	85.0%	43.5%	60.0%	58.8%

上段: 検出地点数、中段: 全調査地点数、下段: 全調査地点数に対する検出地点数の割合 (%)

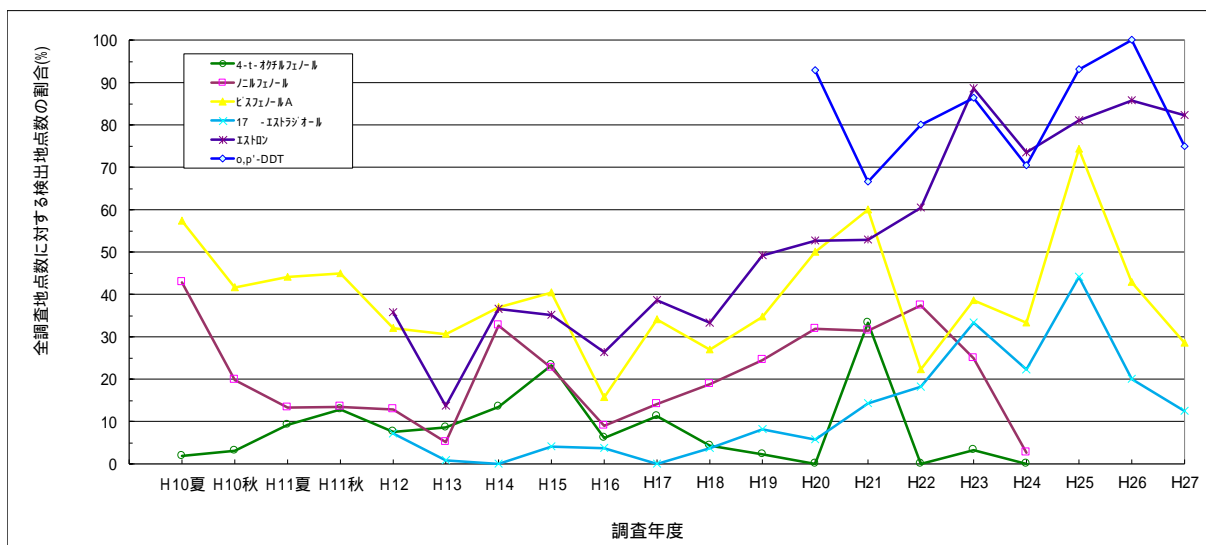


図-46 内分泌かく乱化学物質に対する検出地点数の割合(%)の推移

	H10夏	H10秋	H11夏	H11秋	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
4-t-オクチルフェノール	5	8	24	18	10	10	6	10	3	5	2	1	0
	256	261	261	140	131	117	44	43	48	44	46	42	13
	2.0%	3.1%	9.2%	12.9%	7.6%	8.5%	13.6%	23.3%	6.3%	11.4%	4.3%	2.4%	0%
ノニルフェノール	110	52	35	19	17	6	21	15	6	9	13	16	7
	256	261	261	140	131	117	64	66	66	64	69	65	22
	43.0%	19.9%	13.4%	13.6%	13.0%	5.1%	32.8%	22.7%	9.1%	14.1%	18.8%	24.6%	31.8%
ビスフェノールA	147	109	115	63	42	36	17	19	8	16	14	16	8
	256	261	261	140	131	117	46	47	51	47	52	46	16
	57.4%	41.8%	44.1%	45.0%	32.1%	30.8%	37.0%	40.4%	15.7%	34.0%	26.9%	34.8%	50%
17-イストラジオール					1	1	0	2	2	0	2	4	1
					14	117	49	49	52	50	53	49	17
					7.1%	0.9%	0.0%	4.1%	3.8%	0.0%	3.8%	8.2%	5.9%
エストロゲン					5	16	19	20	18	24	25	34	30
					14	117	52	57	68	62	75	69	57
					35.7%	13.7%	36.5%	35.1%	26.5%	38.7%	33.3%	49.3%	52.6%
o,p'-DDT													26
													28
													93%

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
4-t-オクチルフェノール	3	0	1	0	-	-	-
	9	8	30	33	-	-	-
	33.3%	0.0%	3.3%	0.0%	-	-	-
ノニルフェノール	6	6	9	1	-	-	-
	19	16	36	38	-	-	-
	31.6%	37.5%	25.0%	2.6%	-	-	-
ビスフェノールA	6	2	12	11	26	6	2
	10	9	31	33	35	14	7
	60%	22%	39%	33%	74%	43%	29%
17-イストラジオール	2	2	12	8	15	3	1
	14	11	36	36	34	15	8
	14.3%	18.2%	33.3%	22.2%	44.1%	20.0%	12.5%
エストロゲン	27	29	54	36	34	18	14
	51	48	61	49	42	21	17
	52.9%	60.4%	88.5%	73.5%	81.0%	85.7%	82.4%
o,p'-DDT	8	8	19	19	27	26	9
	12	10	22	27	29	26	12
	66.7%	80.0%	86.4%	70.4%	93.1%	100.0%	75.0%

上段: 検出地点数、中段: 全調査地点数、下段: 全調査地点数に対する検出地点数の割合 (%)

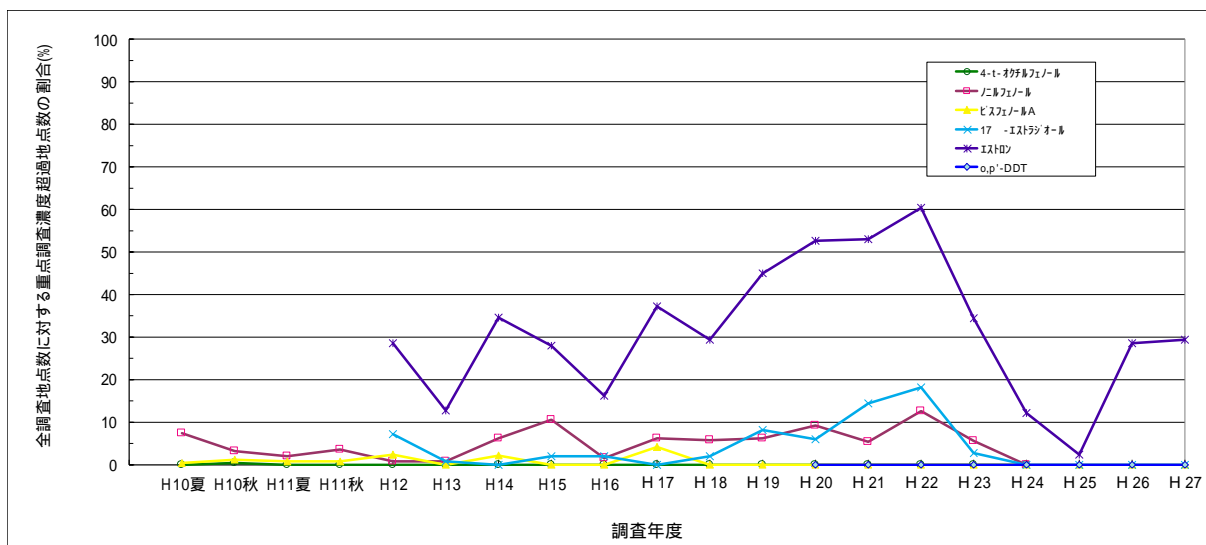


図-47 内分泌かく乱化学物質に関する全調査地点数に対する
重点調査濃度超過地点数の割合(%)の推移

	H10夏	H10秋	H11夏	H11秋	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
4-t-オクチルフェノール	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	256	261	261	140	131	117	44	43	48	44	46	42	13
	0%	0.4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ノルフェノール	19	8	5	5	1	1	4	7	1	4	4	4	2
	256	261	261	140	131	117	64	66	66	64	69	65	22
	7.4%	3.1%	1.9%	3.6%	0.8%	0.9%	6.3%	10.6%	1.5%	6.3%	5.8%	6.2%	9.1%
ビスフェノールA	1	3	2	1	3	0	1	0	0	2	0	0	0
	256	261	261	140	131	117	46	47	51	47	52	46	16
	0.4%	1.1%	0.8%	0.7%	2.3%	0%	2.2%	0%	0%	4.3%	0%	0%	0%
17-エストロジオール					1	1	0	1	1	0	1	4	1
					14	117	49	49	52	50	53	49	17
					7.1%	0.9%	0%	2.0%	1.9%	0%	1.9%	8.2%	5.9%
エストロゲン					4	15	18	16	11	23	22	31	30
					14	117	52	57	68	62	75	69	57
					28.6%	12.8%	34.6%	28.1%	16.2%	37.1%	29.3%	44.9%	52.6%
o,p'-DDT													0
													28
													0%

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
4-t-オクチルフェノール	0	0	0	0	-	-	-
	9	8	30	33	-	-	-
	0%	0%	0%	0.0%	-	-	-
ノルフェノール	1	2	2	0	-	-	-
	19	16	36	38	-	-	-
	5.3%	12.5%	5.6%	0.0%	-	-	-
ビスフェノールA	0	0	0	0	0	0	0
	10	9	31	33	35	14	7
	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
17-エストロジオール	2	2	1	0	0	0	0
	14	11	36	36	34	15	8
	14.3%	18.2%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
エストロゲン	27	29	21	6	1	6	5
	51	48	61	49	42	21	17
	52.9%	60.4%	34.4%	12.2%	2.4%	28.6%	29.4%
o,p'-DDT	0	0	0	0	0	0	0
	12	10	22	27	29	26	12
	0%	0%	0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

上段:重点調査濃度超過地点数、中段:全調査地点数、下段:全調査地点数に対する重点調査濃度超過地点数の割合(%)

表-39(1) 平成27年度ダイオキシン類に関する実態調査結果(北海道)

No.	整備局名	都道府県名	水系名	河川名	調査地点名	地点			ダイオキシン類(水質) ²				ダイオキシン類(底質) ²				
						基準 or 補助	重点監視地点 ₁		調査時期	PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (平均値)	PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (最高値)
							水質	底質									
							pg-TEQ/	pg-TEQ/		pg-TEQ/	pg-TEQ/	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g		
103	北海道	北海道	石狩川	空知川	滝里ダム	補助			秋期	0.077	0.0047	0.082	0.082	5.60	0.063	5.6	5.6
107	北海道	北海道	石狩川	石狩川	納内橋	補助			秋期	0.068	0.0047	0.073	0.073				
109	北海道	北海道	石狩川	石狩川	石狩大橋	基準			秋期	0.074	0.0046	0.078	0.078	0.6	0.013	0.65	0.65
113	北海道	北海道	石狩川	豊平川	中沼	基準			秋期	0.065	0.005	0.07	0.07	0.33	0.060	0.39	0.39
115	北海道	北海道	常呂川	常呂川	忠志橋	基準			秋期	0.11	0.01	0.12	0.12	0.5	0.015	0.48	0.48
116	北海道	北海道	常呂川	常呂川	上川沿	補助			秋期					0.25	0.014	0.27	0.27
117	北海道	北海道	尻別川	尻別川	名駒	基準			秋期	0.067	0.0046	0.072	0.072	0.82	0.035	0.85	0.85
120	北海道	北海道	後志利別川	後志利別川	今金橋	基準			秋期	0.062	0.0047	0.067	0.067	0.23	0.013	0.24	0.24
122	北海道	北海道	鶴川	鶴川	鶴川橋	基準			秋期	0.062	0.0046	0.067	0.067	0.2	0.013	0.21	0.21
124	北海道	北海道	沙流川	沙流川	二風谷ダム	補助			秋期	0.062	0.0046	0.067	0.067	0.19	0.013	0.21	0.21
125	北海道	北海道	沙流川	沙流川	長知内橋	基準			秋期	0.062	0.0046	0.067	0.067	0.19	0.013	0.21	0.21
126	北海道	北海道	沙流川	沙流川	沙流川橋	補助			秋期					0.19	0.013	0.21	0.21
127	北海道	北海道	十勝川	十勝川	十勝ダム	補助			秋期	0.063	0.0046	0.068	0.068	0.35	0.013	0.36	0.36
130	北海道	北海道	十勝川	十勝川	茂岩橋	基準			秋期	0.064	0.0046	0.069	0.069	0.31	0.013	0.32	0.32
131	北海道	北海道	釧路川	新釧路川	愛国浄水場取水口	基準			秋期	0.062	0.0046	0.067	0.067	0.20	0.013	0.21	0.21
133	北海道	北海道	網走川	網走川	治水橋	基準			秋期	0.063	0.0047	0.068	0.068	0.6	0.013	0.57	0.57
134	北海道	北海道	網走川	網走湖	st.2	基準			秋期	0.066	0.0047	0.071	0.071	3.30	0.067	3.4	3.4
136	北海道	北海道	湧別川	湧別川	中湧別橋	基準			秋期	0.062	0.0046	0.067	0.067	0.22	0.014	0.23	0.23
138	北海道	北海道	渚滑川	渚滑川	ウツツ橋	基準			秋期	0.062	0.0047	0.067	0.067	0.20	0.013	0.21	0.21
140	北海道	北海道	天塩川	天塩川	岩尾内ダム	補助			秋期	0.062	0.0046	0.067	0.067	1.7	0.097	1.8	1.8
142	北海道	北海道	天塩川	天塩川	天塩大橋	基準			秋期	0.064	0.0046	0.069	0.069	0.91	0.013	0.92	0.92
144	北海道	北海道	留萌川	留萌川	16線橋	基準			秋季	0.064	0.0046	0.069	0.069	0.55	0.014	0.56	0.56

- 1 過去に要監視濃度を超えてから、8回連続して要監視濃度以下とならなかった地点。
- 2 網掛けは環境基準を超過、斜体は要監視濃度を超過、-は未測定
- 3 四捨五入により、(PCDDs+PCDFs)とCo-PCBの和が、評価値と一致しないことがある。

表-39(2) 平成27年度ダイオキシン類に関する実態調査結果(東北)

No.	整備局名	都道府県名	水系名	河川名	調査地点名	地点		調査時期	ダイオキシン類(水質) ²				ダイオキシン類(底質) ²			
						基準 or 補助	重点監視地点 ¹		PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (平均値)	PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (最高値)
201	東北	青森県	馬淵川	馬淵川	尻内橋	基準		秋期	0.065	0.0047	0.07	0.07	0.31	0.014	0.32	0.32
202	東北	青森県	岩木川	岩木川	乾橋	基準		秋期	0.077	0.0048	0.082	0.082	0.21	0.013	0.22	0.22
203	東北	青森県	高瀬川	小川原湖	小川原湖No.H	基準		秋期	0.063	0.0046	0.068	0.068	10.00	0.44	11.00	11.00
204	東北	岩手県	北上川	北上川	北上川橋	補助		秋期	0.068	0.0046	0.073	0.073	1.9	0.037	1.9	1.9
205	東北	岩手県	北上川	北上川	四十四田ダム	補助		秋期	0.066	0.0046	0.071	0.071	2.2	0.097	2.3	2.3
206	東北	岩手県	北上川	猿ヶ石川	田瀬ダム	補助		秋期	0.064	0.0046	0.069	0.069	5	0.19	5	5
207	東北	秋田県	雄物川	雄物川	秋田大橋(新屋)	基準		秋期	0.067	0.0046	0.072	0.072	6.4	0.19	6.6	6.6
208	東北	秋田県	子吉川	子吉川	二十六木橋	基準		秋期	0.069	0.0046	0.074	0.074	3	0.035	3	3
209	東北	秋田県	米代川	米代川	銀杏橋(二ツ井)	基準		秋期	0.064	0.0047	0.069	0.069	0.35	0.025	0.4	0.4
210	東北	秋田県	米代川	小又川	森吉山ダム	補助		秋期	0.062	0.0046	0.067	0.067	1.4	0.11	1.5	1.5
211	東北	山形県	最上川	最上川	暮点橋	基準		秋期	0.068	0.0047	0.072	0.072	0.6	0.04	0.6	0.6
212	東北	山形県	赤川	赤川	浜中	基準		秋期	0.066	0.0046	0.070	0.070	1.6	0.093	1.7	1.7
213	東北	山形県	赤川	赤川	赤川河口	補助		秋期	0.068	0.0046	0.073	0.073	0.23	0.013	0.25	0.25
214	東北	山形県	最上川	置賜白川	白川ダム	補助		秋期	0.064	0.0046	0.068	0.068	4.6	0.1	4.70	4.70
215	東北	山形県	最上川	寒河江川	寒河江ダム	補助		秋期	0.062	0.0046	0.067	0.067	1.3	0.08	1.4	1.4
216	東北	宮城県	名取川	名取川	閑上大橋	基準		秋期	0.067	0.0048	0.072	0.072	0.68	0.058	0.7	0.7
217	東北	宮城県	名取川	名取川	名取橋	補助		秋期	0.067	0.0046	0.072	0.072	0.21	0.014	0.23	0.23
218	東北	宮城県	名取川	広瀬川	三橋	補助		秋期	0.07	0.0048	0.07	0.07	0.83	0.067	0.9	0.9
219	東北	宮城県	阿武隈川	阿武隈川	岩沼	基準		秋期	0.072	0.0047	0.08	0.08	0.3	0.015	0.28	0.28
220	東北	宮城県	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川河口	補助		秋期	0.076	0.0047	0.08	0.08	2.7	0.11	2.8	2.8
221	東北	宮城県	北上川	北上川	登米	基準		秋期	0.066	0.0046	0.071	0.071	1.1	0.035	1.1	1.1
222	東北	宮城県	北上川	北上川	北上大堰	補助		秋期	0.066	0.0047	0.07	0.07	1.50	0.048	1.5	1.5
223	東北	宮城県	鳴瀬川	鳴瀬川	鳴瀬堰(小野)	基準		秋期	0.32	0.0047	0.33	0.33	0.28	0.013	0.29	0.29
224	東北	宮城県	名取川	暮石川	釜房ダム	補助		秋期	0.085	0.0046	0.090	0.090	6.0	0.14	6.2	6.2
225	東北	福島県	阿武隈川	阿武隈川	黒岩	補助		秋期	0.07	0.0047	0.08	0.08	0.21	0.013	0.22	0.22
226	東北	福島県	阿武隈川	荒川	信夫橋	補助		秋期	0.064	0.0046	0.069	0.069	0.2	0.013	0.21	0.21

- 1 過去に要監視濃度を超過してから、8回連続して要監視濃度以下とならなかった地点。
- 2 網掛けは環境基準を超過、斜体は要監視濃度を超過、-は未測定
- 3 四捨五入により、(PCDDs+PCDFs)とCo-PCBの和が、評価値と一致しないことがある。

表-39(3) 平成27年度ダイオキシン類に関する実態調査結果(関東(1))

No.	整備局名	都道府県名	水系名	河川名	調査地点名	地点		調査時期	ダイオキシン類(水質) ²				ダイオキシン類(底質) ²				
						基準 or 補助	重点監視地点 ¹		PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (平均値)	PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (最高値)	
							水質										底質
301	関東	群馬県	利根川	利根川	藤原ダム	補助		秋	0.062	0.0046	0.067	0.067	1.7	0.17	1.9	1.9	
302	関東	群馬県	利根川	利根川	矢木沢ダム	補助		秋	0.062	0.0046	0.067	0.067	2.2	0.20	2.4	2.4	
303	関東	群馬県	利根川	利根川	奈良俣ダム	補助		秋	0.062	0.0046	0.067	0.067	3.5	0.34	3.9	3.9	
304	関東	群馬県	利根川	利根川	相俣ダム	補助		秋	0.062	0.0046	0.067	0.067	2.7	0.28	3.0	3.0	
305	関東	群馬県・埼玉県	利根川	利根川	菌原ダム	補助		秋	0.062	0.0046	0.067	0.067	0.99	0.15	1.1	1.1	
306	関東	群馬県・埼玉県	利根川	利根川	栗橋	補助		秋	0.087	0.0048	0.092	0.092	0.22	0.013	0.24	0.24	
307	関東	茨城県・千葉県	利根川	利根川	佐原(水郷大橋)	基準		秋	0.13	0.0048	0.14	0.14	4.9	0.25	5.2	5.2	
308	関東	茨城県・千葉県	利根川	利根川	銚子大橋	補助		秋	0.094	0.0047	0.099	0.099	0.86	0.035	0.89	0.89	
309	関東	群馬県	利根川	利根川	品木ダム	補助		秋	0.062	0.0046	0.067	0.067	0.86	0.085	0.95	0.95	
310	関東	群馬県	利根川	神流川	下久保ダム	補助		秋	0.062	0.0046	0.067	0.067	1.5	0.18	1.6	1.6	
311	関東	群馬県	利根川	神流川	神流川橋	補助		秋	0.063	0.0046	0.068	0.068	0.23	0.014	0.24	0.24	
312	関東	茨城県・栃木県	利根川	渡良瀬川	三国橋	基準		秋	0.13	0.0049	0.13	0.13	0.22	0.013	0.23	0.23	
313	関東	栃木県	利根川	湯西川	湯西川ダム	補助		秋	0.062	0.0046	0.067	0.067	1.7	0.32	2.1	2.1	
314	関東	栃木県	利根川	鬼怒川	川俣ダム	補助		秋	0.062	0.0046	0.067	0.067	0.74	0.080	0.82	0.82	
315	関東	茨城県	利根川	鬼怒川	滝下橋	基準		秋	0.067	0.0047	0.072	0.072	0.20	0.013	0.21	0.21	
316	関東	茨城県	利根川	小貝川	文巻橋	基準		春	0.54	0.012	0.55	0.35	-	-	-	-	
								夏	0.21	0.0048	0.22	-	-	-	-		
								秋	0.44	0.014	0.46	0.23	0.013	0.25	0.25		
								冬	0.14	0.0050	0.15	-	-	-	-		
317	関東	千葉県・東京都	利根川	江戸川	江戸川水門(上)	基準		秋	0.13	0.0096	0.14	0.14	9.8	0.63	10	10	
318	関東	埼玉県	利根川	中川	潮止橋	補助		春	1.2	0.026	1.2	0.69	-	-	-	-	
								夏	0.66	0.025	0.69	-	-	-	-		
								秋	0.46	0.030	0.50	1.2	0.058	1.2	1.2		
								冬	0.35	0.022	0.38	-	-	-	-		
319	関東	東京都	利根川	中川	飯塚橋	基準		春	1.1	0.030	1.1	0.80	-	-	-	-	
								夏	0.58	0.025	0.60	-	-	-	-		
								秋	0.97	0.044	1.0	24	0.99	25	25		
								冬	0.47	0.039	0.51	-	-	-	-		

- 過去に要監視濃度を超えてから、8回連続して要監視濃度以下とならなかった地点。
- 網掛けは環境基準を超過、斜体は要監視濃度を超過、-は未測定
- 四捨五入により、(PCDDs+PCDFs)とCo-PCBの和が、評価値と一致しないことがある。

表-39(4) 平成27年度ダイオキシン類に関する実態調査結果(関東(2))

No.	整備局名	都道府県名	水系名	河川名	調査地点名	地点		調査時期	ダイオキシン類(水質) ²				ダイオキシン類(底質) ²				
						基準 or 補助	重点監視地点 ¹		PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (平均値)	PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (最高値)	
							水質										底質
320	関東	東京都	利根川	中川	高砂橋	補助		春	0.90	0.12	1.0	0.73	-	-	-	-	
								夏	0.56	0.077	0.63		-	-	-	-	
								秋	0.74	0.050	0.79		-	-	-	-	
								冬	0.42	0.058	0.48		-	-	-	-	
321	関東	埼玉県	利根川	綾瀬川	槐戸橋	補助		春	1.8	0.073	1.8	1.2	-	-	-	-	
								夏	1.5	0.049	1.5		-	-	-	-	
								秋	0.97	0.048	1.0		-	-	-	-	
								冬	0.56	0.037	0.60		-	-	-	-	
322	関東	埼玉県	利根川	綾瀬川	手代橋	補助		春	2.3	0.20	2.5	1.3	-	-	-	-	
								夏	1.3	0.070	1.4		-	-	-	-	
								秋	0.95	0.080	1.0		4.4	0.43	4.8	4.8	
								冬	0.40	0.043	0.44		-	-	-	-	
323	関東	埼玉県・東京都	利根川	綾瀬川	内匠橋	基準		春	0.75	0.049	0.80	0.77	-	-	-	-	
								夏	0.86	0.057	0.91		-	-	-	-	
								秋	0.99	0.12	1.1		6.4	0.54	6.9	6.9	
								冬	0.24	0.033	0.27		-	-	-	-	
324	関東	茨城県	利根川	霞ヶ浦	湖心	基準		秋	0.24	0.0083	0.25	0.25	16	0.65	17	17	
325	関東	茨城県	利根川	霞ヶ浦	釜谷沖	基準		秋	0.23	0.0047	0.24	0.24	25	0.53	26	26	
326	関東	茨城県	利根川	霞ヶ浦	外浪逆浦	補助		秋	0.23	0.0048	0.24	0.24	4.3	0.17	4.5	4.5	
327	関東	埼玉県	荒川	荒川	開平橋	補助		秋	0.077	0.0048	0.082	0.082	0.61	0.066	0.68	0.68	
328	関東	埼玉県	荒川	荒川	治水橋	基準		秋	0.11	0.0048	0.11	0.11	1.3	0.13	1.4	1.4	
329	関東	東京都	荒川	荒川	堀切橋	補助		春	0.35	0.071	0.42	0.50	-	-	-	-	
								夏	0.31	0.046	0.35		-	-	-	-	
								秋	0.74	0.097	0.84		-	-	-	-	
								冬	0.32	0.053	0.38		-	-	-	-	
330	関東	東京都	荒川	荒川	葛西橋	補助		秋	0.32	0.041	0.36	0.36	6.1	0.90	7.0	7.0	
331	関東	茨城県	久慈川	久慈川	榑橋	基準		秋	0.075	0.0047	0.079	0.079	0.21	0.013	0.22	0.22	
332	関東	茨城県	久慈川	久慈川	東橋	補助		秋	0.13	0.0047	0.13	0.13	0.23	0.013	0.24	0.24	
333	関東	茨城県	那珂川	那珂川	下国井	基準		秋	0.064	0.0046	0.069	0.069	0.23	0.014	0.24	0.24	
334	関東	茨城県	那珂川	那珂川	上合橋	補助		秋	0.081	0.0046	0.085	0.085	0.61	0.013	0.62	0.62	
335	関東	東京都	多摩川	多摩川	拝島橋	補助		秋	0.062	0.0047	0.067	0.067	0.47	0.057	0.53	0.53	

- 1 過去に要監視濃度を超えてから、8回連続して要監視濃度以下とならなかった地点。
- 2 網掛けは環境基準を超過、斜体は要監視濃度を超過、-は未測定
- 3 四捨五入により、(PCDDs+PCDFs)とCo-PCBの和が、評価値と一致しないことがある。

表-39(5) 平成27年度ダイオキシン類に関する実態調査結果（関東（3））

No.	整備局名	都道府県名	水系名	河川名	調査地点名	地点		調査時期	ダイオキシン類（水質） ²				ダイオキシン類（底質） ²				
						基準 or 補助	重点監視地点 ¹		PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 （平均値）	PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 （最高値）	
							水質										底質
336	関東	東京都・神奈川県	多摩川	多摩川	田園調布堰	基準		秋	0.064	0.0049	0.069	0.069	0.26	0.070	0.33	0.33	
337	関東	東京都	多摩川	浅川	高幡橋	補助		秋	0.063	0.0047	0.068	0.068	0.25	0.035	0.29	0.29	
338	関東	神奈川県	鶴見川	鶴見川	亀の子橋	基準		秋	0.071	0.0098	0.081	0.081	1.0	0.17	1.2	1.2	
339	関東	神奈川県	鶴見川	矢上川	矢上川橋	補助		秋	0.063	0.0050	0.068	0.068	0.40	0.11	0.51	0.51	
340	関東	神奈川県	相模川	相模川	馬入橋	基準		秋	0.065	0.0048	0.070	0.070	0.21	0.036	0.24	0.24	
341	関東	山梨県	富士川	笛吹川	三郡東橋	補助		秋	0.10	0.0082	0.11	0.11	0.20	0.013	0.22	0.22	
342	関東	静岡県	富士川	富士川	富士川橋	基準		秋	0.076	0.0047	0.081	0.081	0.20	0.013	0.21	0.21	

- 1 過去に要監視濃度を超えてから、8回連続して要監視濃度以下とならなかった地点。
- 2 網掛けは環境基準を超過、斜体は要監視濃度を超過、-は未測定
- 3 四捨五入により、(PCDDs+PCDFs)とCo-PCBの和が、評価値と一致しないことがある。

表-39(6) 平成27年度ダイオキシン類に関する実態調査結果(北陸)

No.	整備局名	都道府県名	水系名	河川名	調査地点名	地点		調査時期	ダイオキシン類(水質) ²				ダイオキシン類(底質) ²				
						基準 or 補助	重点監視地点 ¹		PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (平均値)	PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (最高値)	
							水質										底質
	北陸	新潟県	荒川	荒川	旭橋下流	基準		秋期	0.066	0.0046	0.070	0.070	1.2	0.066	1.3	1.3	
	北陸	新潟県	荒川	荒川	大石ダム	補助		秋期	0.062	0.0046	0.067	0.067	7.3	0.43	7.7	7.7	
	北陸	新潟県	荒川	荒川	横川ダム	補助		秋期	0.063	0.0046	0.068	0.068	1.9	0.067	1.9	1.9	
	北陸	新潟県	阿賀野川	阿賀野川	横雲橋	基準		秋期	0.071	0.0046	0.075	0.075	0.20	0.013	0.21	0.21	
	北陸	新潟県	信濃川	信濃川	平成大橋	基準		春期	1.2	0.0048	1.2	0.70	0.50	0.014	0.51	2.2	
								夏期	0.42	0.0048	0.42		1.5	0.015	1.5		
								秋期	0.20	0.0048	0.20		2.2	0.015	2.2		
								冬期	1.0	0.0084	1.0		0.54	0.014	0.56		
	北陸	新潟県	信濃川	信濃川	庄瀬橋	基準		春期	1.6	0.0094	1.6	0.79	1.2	0.014	1.2	1.2	
								夏期	0.55	0.0094	0.56		0.69	0.014	0.71		
								秋期	0.21	0.0048	0.22		1.2	0.014	1.2		
								冬期	0.76	0.0048	0.77		0.56	0.013	0.57		
	北陸	新潟県	信濃川	信濃川	旭橋	補助		秋期	0.076	0.0046	0.081	0.081	0.21	0.013	0.23	0.23	
	北陸	新潟県	信濃川	三國川	三國川ダム	補助		秋期	0.062	0.0046	0.067	0.067	1.9	0.091	2.0	2.0	
	北陸	長野県	信濃川	千曲川	立ヶ花橋	補助		秋期	0.073	0.0047	0.078	0.078	4.4	0.087	4.5	4.5	
	北陸	長野県	信濃川	高瀬川	大町ダム	補助		秋期	0.062	0.0046	0.067	0.067	1.1	0.081	1.2	1.2	
	北陸	新潟県	関川	関川	直江津橋	基準		春期	4.0	0.015	4.0	2.8	1.1	0.014	1.1	2.4	
								夏期	0.57	0.0048	0.59		1.5	0.014	1.5		
								秋期	6.2	0.029	6.2		1.4	0.014	1.4		
								冬期	0.30	0.0047	0.30		2.3	0.025	2.4		
	北陸	新潟県	関川	関川	稲田橋	補助		春期	6.8	0.011	6.8	3.0	0.25	0.013	0.26	0.70	
								夏期	1.1	0.0050	1.1		0.69	0.014	0.70		
								秋期	4.0	0.013	4.0		0.60	0.014	0.62		
								冬期	0.27	0.0048	0.27		0.24	0.013	0.26		
	北陸	新潟県	関川	保倉川	古城橋	補助		春期	6.5	0.013	6.6	2.9	2.4	0.015	2.4	5.9	
								夏期	0.60	0.0048	0.60		2.4	0.015	2.4		
								秋期	3.7	0.016	3.7		2.4	0.026	2.4		
								冬期	0.52	0.0047	0.53		5.9	0.036	5.9		
	北陸	新潟県	姫川	姫川	山本(中山橋)	基準		秋期	0.16	0.0046	0.16	0.16	0.19	0.013	0.21	0.21	
	北陸	富山県	黒部川	黒部川	下黒部橋	基準		秋期	0.062	0.0047	0.067	0.067	0.19	0.013	0.21	0.21	
	北陸	富山県	常願寺川	常願寺川	常願寺橋	基準		秋期	0.062	0.0047	0.067	0.067	0.20	0.013	0.21	0.21	
	北陸	富山県	神通川	神通川	神通大橋	基準		秋期	0.066	0.0046	0.071	0.071	0.20	0.013	0.21	0.21	
	北陸	富山県	庄川	庄川	大門大橋	基準		秋期	0.062	0.0046	0.067	0.067	0.24	0.014	0.26	0.26	
	北陸	富山県	小矢部川	小矢部川	城光寺橋	基準		秋期	0.13	0.0049	0.14	0.14	0.22	0.014	0.24	0.24	
	北陸	石川県	手取川	手取川	美川大橋	基準		秋期	0.067	0.0046	0.071	0.071	0.20	0.013	0.21	0.21	
	北陸	石川県	梯川	梯川	石田橋	基準		秋期	0.35	0.0047	0.36	0.36	2.4	0.047	2.4	2.4	

- 過去に要監視濃度を超えてから、8回連続して要監視濃度以下とならなかった地点。
- 網掛けは環境基準を超過、斜体は要監視濃度を超過、-は未測定
- 四捨五入により、(PCDDs+PCDFs)とCo-PCBの和が、評価値と一致しないことがある。

表-39(7) 平成27年度ダイオキシン類に関する実態調査結果(中部)

No.	整備局名	都道府県名	水系名	河川名	調査地点名	地点		調査時期	ダイオキシン類(水質) ²				ダイオキシン類(底質) ²				
						基準 or 補助	重点監視地点 ¹		PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (平均値)	PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (最高値)	
							水質										底質
501	中部	静岡	狩野川	狩野川	徳倉橋	基準			秋季	0.10	0.0051	0.11	0.11	0.39	0.026	0.42	0.42
503	中部	静岡	狩野川	狩野川	河口域最下流	補助			秋季					1.4	0.13	1.5	1.5
504	中部	静岡	安倍川	安倍川	安倍川橋	基準			秋季	0.062	0.0046	0.067	0.067	0.19	0.013	0.21	0.21
505	中部	静岡	安倍川	安倍川	河口域最下流	補助			秋季					0.19	0.014	0.21	0.21
507	中部	静岡	大井川	大井川	富士見橋	基準			秋季	0.063	0.0047	0.068	0.068	0.19	0.013	0.21	0.21
508	中部	静岡	大井川	大井川	河口域最下流	補助			秋季					0.19	0.013	0.21	0.21
509	中部	静岡	菊川	菊川	高田橋	基準			秋季	0.12	0.0046	0.12	0.12	0.47	0.014	0.48	0.48
511	中部	静岡	菊川	菊川	河口域最下流	補助			秋季					0.22	0.014	0.23	0.23
513	中部	静岡	天竜川	天竜川	鹿島橋	基準			秋季	0.075	0.0047	0.079	0.079	0.20	0.013	0.21	0.21
514	中部	静岡	天竜川	天竜川	河口域最下流	補助			秋季					0.25	0.014	0.27	0.27
515	中部	長野	天竜川	三峰川	美和ダム	補助			秋季	0.062	0.0046	0.067	0.067	0.23	0.013	0.25	0.25
519	中部	愛知	豊川	豊川	江島橋	基準			秋季	0.074	0.0046	0.078	0.078	0.24	0.013	0.25	0.25
520	中部	愛知	豊川	豊川	当古橋	補助			秋季	0.076	0.0046	0.081	0.081	0.27	0.013	0.28	0.28
524	中部	愛知	矢作川	矢作川	米津大橋	基準			秋季	0.11	0.0047	0.12	0.12	0.21	0.013	0.22	0.22
528	中部	愛知	庄内川	庄内川	城嶺橋	補助			秋季	0.072	0.0046	0.076	0.076	0.21	0.013	0.23	0.23
529	中部	愛知	庄内川	庄内川	大留橋	補助			秋季	0.071	0.0046	0.076	0.076	0.33	0.013	0.35	0.35
531	中部	愛知	庄内川	庄内川	枇杷島橋	基準			秋季	0.091	0.0050	0.096	0.096	0.23	0.014	0.24	0.24
533	中部	愛知	庄内川	矢田川	天神橋	補助			秋季	0.073	0.0052	0.079	0.079	0.20	0.014	0.22	0.22
535	中部	岐阜	木曾川	木曾川	丸山ダム	補助			秋季	0.064	0.0046	0.068	0.068	1.1	0.092	1.1	1.1
536	中部	愛知	木曾川	木曾川	濃尾大橋	基準			秋季	0.065	0.0046	0.070	0.07	0.21	0.013	0.22	0.22
541	中部	三重	木曾川	長良川	伊勢大橋	基準			秋季	0.12	0.0050	0.12	0.12	0.90	0.077	0.98	0.98
544	中部	岐阜	木曾川	揖斐川	横山ダム	補助			秋季	0.062	0.0046	0.067	0.067	3.2	0.22	3.4	3.4
546	中部	岐阜	木曾川	揖斐川	福岡大橋	基準			秋季	0.13	0.0047	0.14	0.14	5.2	0.15	5.4	5.4
548	中部	三重	鈴鹿川	鈴鹿川	高岡橋	基準			秋季	0.081	0.0046	0.086	0.086	0.21	0.013	0.22	0.22
551	中部	三重	雲出川	雲出川	雲出橋	基準			秋季	0.088	0.0046	0.092	0.092	1.5	0.049	1.6	1.6
554	中部	三重	榑田川	榑田川	榑田橋	基準			秋季	0.11	0.0046	0.11	0.11	0.26	0.013	0.27	0.27
556	中部	三重	宮川	宮川	度会橋	基準			秋季	0.066	0.0046	0.070	0.07	0.20	0.013	0.22	0.22

- 1 過去に要監視濃度を超えてから、8回連続して要監視濃度以下とならなかった地点。
- 2 網掛けは環境基準を超過、斜体は要監視濃度を超過、-は未測定
- 3 四捨五入により、(PCDDs+PCDFs)とCo-PCBの和が、評価値と一致しないことがある。

表-39(8) 平成27年度ダイオキシン類に関する実態調査結果(近畿)

No.	整備局名	都道府県名	水系名	河川名	調査地点名	地点		調査時期	ダイオキシン類(水質) ²				ダイオキシン類(底質) ²			
						基準 or 補助	重点監視地点 ¹		PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (平均値)	PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (最高値)
601	近畿	三重県・和歌山県	新宮川	熊野川	熊野大橋	基準		秋季	0.068	0.0046	0.072	0.072	0.20	0.014	0.21	0.21
602	近畿	和歌山県	紀の川	紀の川	大川橋	補助		秋季	0.064	0.0046	0.069	0.069	0.20	0.014	0.22	0.22
603	近畿	和歌山県	紀の川	紀の川	船戸	基準		秋季	0.072	0.0047	0.076	0.076	0.24	0.027	0.27	0.27
604	近畿	奈良県	大和川	大和川	上吐田橋	補助		春季	0.37	0.016	0.39	0.33	-	-	-	0.53
								夏季	0.39	0.014	0.41	-	-	-	-	
								秋季	0.33	0.014	0.35	-	0.52	0.014	0.53	
								冬季	0.17	0.010	0.18	-	-	-	-	
605	近畿	奈良県	大和川	大和川	太子橋	補助		春季	0.41	0.018	0.43	0.36	-	-	-	0.32
								夏季	0.46	0.017	0.48	-	-	-	-	
								秋季	0.33	0.016	0.34	-	0.30	0.015	0.32	
								冬季	0.13	0.011	0.14	-	-	-	-	
606	近畿	奈良県	大和川	大和川	藤井	補助		春季	0.32	0.022	0.34	0.31	-	-	-	0.26
								夏季	0.49	0.028	0.52	-	-	-	-	
								秋季	0.24	0.020	0.26	-	0.24	0.015	0.26	
								冬季	0.099	0.0086	0.11	-	-	-	-	
607	近畿	大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	基準		春季	0.24	0.020	0.26	0.29	-	-	-	0.28
								夏季	0.57	0.027	0.60	-	-	-	-	
								秋季	0.21	0.012	0.22	-	0.26	0.025	0.28	
								冬季	0.085	0.0096	0.096	-	-	-	-	
608	近畿	大阪府	大和川	大和川	河口部 中	補助		春季	0.21	0.021	0.23	0.37	-	-	-	0.27
								夏季	0.84	0.048	0.89	-	-	-	-	
								秋季	0.24	0.022	0.26	-	0.25	0.014	0.27	
								冬季	0.097	0.011	0.11	-	-	-	-	
609	近畿	三重県	淀川	木津川	岩倉橋	補助		秋季	0.18	0.0047	0.19	0.19	0.24	0.014	0.26	0.26
610	近畿	京都府	淀川	木津川	加茂藤仁大橋	補助		秋季	0.13	0.0050	0.13	0.13	0.22	0.014	0.24	0.24
611	近畿	京都府	淀川	木津川	玉水橋	補助		秋季	0.10	0.0050	0.11	0.11	0.23	0.014	0.24	0.24
612	近畿	京都府	淀川	木津川	木津川御座橋	補助		秋季	0.12	0.0051	0.12	0.12	0.25	0.014	0.26	0.26
613	近畿	大阪府	淀川	淀川	枚方大橋中央	基準		秋季	0.074	0.0097	0.083	0.083	0.21	0.015	0.23	0.23
614	近畿	大阪府	淀川	淀川	菅原城北大橋	基準		秋季	0.083	0.0096	0.092	0.092	0.26	0.037	0.30	0.30
615	近畿	大阪府・兵庫県	淀川	猪名川	利倉	基準		秋季	0.066	0.014	0.080	0.080	0.21	0.037	0.25	0.25
616	近畿	兵庫県	淀川	瀧川	中園橋	基準		秋季	0.088	0.018	0.11	0.11	0.70	0.21	0.90	0.90
617	近畿	兵庫県	加古川	加古川	池尻(加古川橋)	基準		秋季	0.077	0.0048	0.082	0.082	0.26	0.013	0.27	0.27
618	近畿	兵庫県	揖保川	揖保川	上川原(王子橋)	基準		秋季	0.079	0.0048	0.084	0.084	0.21	0.036	0.25	0.25
619	近畿	兵庫県	揖保川	揖保川	本町橋	補助		秋季	-	-	-	-	0.22	0.060	0.28	0.28
620	近畿	兵庫県	円山川	円山川	立野	基準		秋季	0.065	0.0046	0.070	0.070	0.20	0.013	0.21	0.21
621	近畿	京都府	由良川	由良川	音無瀬橋	補助		秋季	0.070	0.0047	0.075	0.075	0.22	0.014	0.24	0.24
622	近畿	京都府	由良川	由良川	波美橋	基準		秋季	0.067	0.0047	0.072	0.072	0.20	0.014	0.22	0.22
623	近畿	福井県	九頭竜川	九頭竜川	中角	基準		秋季	0.064	0.0046	0.069	0.069	0.20	0.014	0.21	0.21
624	近畿	福井県	九頭竜川	九頭竜川	九頭竜ダム湖	補助		秋季	0.062	0.0047	0.067	0.067	4.1	0.36	4.5	4.5
625	近畿	福井県	九頭竜川	九頭竜川	九頭竜川河口	補助		秋季	-	-	-	-	2.2	0.14	2.3	2.3
626	近畿	福井県	九頭竜川	真名川	真名川ダム湖	補助		秋季	0.062	0.0046	0.067	0.067	1.7	0.15	1.9	1.9
627	近畿	福井県	北川	北川	高塚	基準		秋季	0.075	0.0047	0.080	0.080	0.23	0.038	0.27	0.27
628	近畿	福井県	北川	北川	西津橋	補助		秋季	-	-	-	-	1.6	0.058	1.7	1.7

- 過去に要監視濃度を超えてから、8回連続して要監視濃度以下とならなかった地点。
- 網掛けは環境基準を超過、斜体は要監視濃度を超過、-は未測定
- 四捨五入により、(PCDDs+PCDFs)とCo-PCBの和が、評価値と一致しないことがある。

表-39(9) 平成27年度ダイオキシン類に関する実態調査結果(中国)

都道府県名	水系名	河川名	調査地点名	地点		調査時期	ダイオキシン類(水質) ²				ダイオキシン類(底質) ²			
				基準 or 補助	重点監視地点 ¹		PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (平均値)	PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (最高値)
鳥取県	千代川	千代川	行徳	基準		秋期	0.065	0.0046	0.069	0.069	0.23	0.013	0.24	0.24
鳥取県	天神川	天神川	小田	基準		秋期	0.068	0.0046	0.073	0.073	0.21	0.013	0.22	0.22
鳥取県	日野川	日野川	車尾	基準		秋期	0.069	0.0047	0.074	0.074	0.26	0.013	0.27	0.27
島根県	斐伊川	斐伊川	大津	基準		秋期	0.069	0.0046	0.074	0.074	0.20	0.013	0.21	0.21
島根県	斐伊川	斐伊川	尾原ダム	補助		秋期	0.065	0.0046	0.070	0.07	2.8	0.15	3.0	3
島根県	斐伊川	宍道湖	NO.3	基準		秋期	0.070	0.0046	0.074	0.074	24	0.99	25	25
島根県	斐伊川	宍道湖	斐伊川河口	基準		秋期	0.084	0.0046	0.089	0.089	2.4	0.055	2.5	2.5
島根県	斐伊川	宍道湖	松江温泉沖	基準		秋期	0.072	0.0047	0.076	0.076	0.26	0.013	0.28	0.28
島根県	斐伊川	宍道湖	秋鹿沖	基準		秋期	0.074	0.0046	0.078	0.078	0.70	0.025	0.72	0.72
島根県	斐伊川	宍道湖	玉湯町泉源沖	基準		秋期	0.082	0.0046	0.086	0.086	1.5	0.035	1.6	1.6
島根県	斐伊川	中海	中海湖心	基準		秋期	0.066	0.0046	0.071	0.071	26	0.82	27	27
島根県	斐伊川	神戸川	馬木	補助		秋期	0.064	0.0046	0.068	0.068	0.24	0.013	0.26	0.26
島根県	斐伊川	神戸川	志津見ダム	補助		秋期	0.064	0.0046	0.068	0.068	4.6	0.2	4.8	4.8
島根県	江の川	江の川	桜江大橋	基準		秋期	0.070	0.0046	0.075	0.075	0.21	0.013	0.22	0.22
島根県	高津川	高津川	金地橋	基準		秋期	0.063	0.0046	0.067	0.067	0.26	0.014	0.27	0.27
岡山県	吉井川	吉井川	熊山橋	基準		秋期	0.071	0.0046	0.075	0.075	0.42	0.013	0.43	0.43
岡山県	旭川	旭川	乙井手堰	基準		秋期	0.072	0.0046	0.076	0.076	0.54	1.4	1.9	1.9
岡山県	高梁川	高梁川	霞橋	基準		秋期	0.083	0.0046	0.088	0.088	1.7	0.086	1.8	1.8
広島県	江の川	江の川	土師ダム	補助		秋期	0.070	0.0046	0.074	0.074	14	0.41	15	15.0
広島県	芦田川	芦田川	小水呑橋	基準		春期	0.33	0.018	0.35	0.183	0.63	0.034	0.67	1.4
						夏期	0.089	0.0047	0.093		1.3	0.056	1.3	
						秋期	0.096	0.0048	0.10		3.2	0.16	3.3	
						冬期	0.18	0.0095	0.19		0.34	0.014	0.36	
広島県	芦田川	芦田川	八田原ダム	補助		秋期	0.070	0.0046	0.075	0.075	15	0.31	15	15
広島県	江の川	上下川	灰塚ダム	補助		秋期	0.072	0.0046	0.076	0.076	13	0.27	13	13
広島県	太田川	太田川	壬辰橋	基準		秋期	0.065	0.0046	0.070	0.07	0.20	0.013	0.22	0.22
広島県	太田川	太田川	矢口川上流	補助		秋期	0.066	0.0046	0.070	0.07	0.21	0.013	0.23	0.23
広島県・山口県	小瀬川	小瀬川	両国橋	基準		秋期	0.071	0.0046	0.076	0.076	0.21	0.013	0.23	0.23
広島県・山口県	小瀬川	小瀬川	中市堰	補助		秋期	0.072	0.0046	0.077	0.077	0.48	0.075	0.55	0.55
広島県	太田川	滝山川	温井ダム	補助		秋期	0.062	0.0046	0.067	0.067	4.5	0.27	4.8	4.8
広島県	小瀬川	小瀬川	弥栄ダム	補助		秋期	0.063	0.0046	0.067	0.067	6.3	0.59	6.9	6.9
山口県	佐波川	佐波川	新橋	基準		秋期	0.068	0.0046	0.072	0.072	0.41	0.013	0.43	0.43
山口県	佐波川	島地川	島地川ダム	補助		秋期	0.062	0.0046	0.067	0.067	2.0	0.14	2.2	2.2

- 1 過去に要監視濃度を超えてから、8回連続して要監視濃度以下とならなかった地点。
- 2 網掛けは環境基準を超過、斜体は要監視濃度を超過、-は未測定
- 3 四捨五入により、(PCDDs+PCDFs)とCo-PCBの和が、評価値と一致しないことがある。

表-39(10) 平成27年度ダイオキシン類に関する実態調査結果(四国)

No.	整備局名	都道府県名	水系名	河川名	調査地点名	地点		調査時期	ダイオキシン類(水質) ²				ダイオキシン類(底質) ²				
						基準 or 補助	重点監視地点		PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (平均値)	PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (最高値)	
							水質										底質
801	四国	愛媛県	重信川	重信川	拝志大橋	補助		秋期	0.070	0.0046	0.074	0.074	0.20	0.013	0.22	0.22	
802	四国	愛媛県	重信川	重信川	重信橋	補助		秋期	0.062	0.0047	0.067	0.067	0.21	0.014	0.22	0.22	
803	四国	愛媛県	重信川	重信川	中川原橋	補助		秋期	0.064	0.0047	0.069	0.069	0.21	0.014	0.22	0.22	
804	四国	愛媛県	重信川	重信川	出合橋	基準		秋期	0.068	0.0048	0.073	0.073	0.21	0.014	0.23	0.23	
805	四国	愛媛県	重信川	石手川	石手川ダム	補助		秋期	0.064	0.0048	0.069	0.069	2.4	0.32	2.8	2.8	
806	四国	徳島県	吉野川	吉野川	高瀬橋	基準		秋期	0.065	0.0046	0.070	0.070	0.22	0.013	0.23	0.23	
807	四国	徳島県	那賀川	那賀川	那賀川橋	基準		秋期	0.063	0.0047	0.068	0.068	0.20	0.013	0.21	0.21	
808	四国	高知県	物部川	物部川	深淵	基準		秋期	0.065	0.0046	0.070	0.070	0.23	0.014	0.24	0.24	
809	四国	高知県	仁淀川	仁淀川	中島	基準		秋期	0.065	0.0046	0.069	0.069	0.21	0.013	0.23	0.23	
810	四国	高知県	渡川	四万十川	具同	基準		秋期	0.070	0.0047	0.075	0.075	0.22	0.013	0.24	0.24	
811	四国	愛媛県	肱川	肱川	肱川橋下流	基準		秋期	0.098	0.0047	0.10	0.10	0.22	0.013	0.23	0.23	
812	四国	香川県	土器川	土器川	丸亀橋	基準		秋期	0.16	0.0048	0.17	0.17	0.38	0.034	0.41	0.41	

- 1 過去に要監視濃度を超えてから、8回連続して要監視濃度以下とならなかった地点。
- 2 網掛けは環境基準を超過、斜体は要監視濃度を超過、-は未測定
- 3 四捨五入により、(PCDDs+PCDFs)とCo-PCBの和が、評価値と一致しないことがある。

表-39(11) 平成27年度ダイオキシン類に関する実態調査結果(九州)

No.	整備局名	都道府県名	水系名	河川名	調査地点名	地点		調査時期	ダイオキシン類(水質) ²				ダイオキシン類(底質) ²				
						基準 or 補助	重点監視地点 ¹		PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (平均値)	PCDD+PCDF	Co-PCB	TOTAL ³	評価値 (最高値)	
							水質										底質
901	九州	福岡県・佐賀県	筑後川	筑後川	瀬ノ下	基準		秋期	0.10	0.0047	0.11	0.11	2.6	0.091	2.7	2.7	
902	九州	大分県・熊本県	筑後川	津江川	下釜ダム	補助		秋期	0.064	0.0046	0.068	0.068	3.1	0.18	3.3	3.3	
903	九州	福岡県	遠賀川	遠賀川	日の出橋	基準		秋期	0.081	0.0048	0.085	0.085	0.22	0.013	0.23	0.23	
904	九州	福岡県	遠賀川	遠賀川	芦屋	補助		秋期	0.13	0.0049	0.13	0.13	14	0.53	14	14	
905	九州	福岡県	遠賀川	遠賀川	伊佐座	補助		秋期	0.12	0.0048	0.13	0.13	8.9	0.46	9.4	9.4	
906	九州	福岡県・大分県	山国川	山国川	下唐原	基準		秋期	0.069	0.0047	0.073	0.073	0.62	0.11	0.72	0.72	
907	九州	大分県	大分川	大分川	府内大橋	基準		秋期	0.077	0.0047	0.082	0.082	0.23	0.013	0.24	0.24	
908	九州	大分県	大野川	大野川	白滝橋	基準		秋期	0.068	0.0046	0.072	0.072	0.20	0.013	0.22	0.22	
909	九州	大分県	大野川	乙津川	海原橋	補助		秋期	0.089	0.0049	0.093	0.093	5.9	0.42	6.3	6.3	
910	九州	大分県	番匠川	番匠川	番匠橋	基準		秋期	0.063	0.0046	0.068	0.068	0.21	0.013	0.22	0.22	
911	九州	宮崎県	五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	三輪	基準		秋期	0.063	0.0046	0.067	0.067	0.20	0.013	0.21	0.21	
912	九州	宮崎県	小丸川	小丸川	高城橋	基準		秋期	0.062	0.0046	0.067	0.067	0.20	0.013	0.21	0.21	
913	九州	宮崎県	小丸川	小丸川	高鍋大橋	補助		秋期	0.063	0.0046	0.068	0.068	0.20	0.013	0.21	0.21	
914	九州	宮崎県	大淀川	大淀川	相生橋	基準		秋期	0.069	0.0046	0.074	0.074	0.20	0.013	0.22	0.22	
915	九州	宮崎県	大淀川	大淀川	樋渡橋	補助		秋期	0.067	0.0047	0.071	0.071	0.20	0.013	0.22	0.22	
916	九州	鹿児島県	肝属川	肝属川	河原田橋	基準		秋期	0.064	0.0048	0.069	0.069	0.22	0.014	0.23	0.23	
917	九州	鹿児島県	肝属川	肝属川	第二有明橋	補助		秋期	0.070	0.0048	0.075	0.075	0.21	0.013	0.22	0.22	
918	九州	鹿児島県	川内川	川内川	曾木大橋	基準		秋期	0.078	0.0046	0.083	0.083	0.85	0.014	0.87	0.87	
919	九州	熊本県	球磨川	球磨川	横石	基準		秋期	0.064	0.0047	0.068	0.068	0.21	0.013	0.22	0.22	
920	九州	熊本県	緑川	緑川	上杉堰	基準		秋期	0.075	0.0047	0.080	0.080	0.23	0.013	0.24	0.24	
921	九州	熊本県	白川	白川	小島橋	基準		秋期	0.095	0.0048	0.10	0.10	0.31	0.014	0.32	0.32	
922	九州	熊本県	菊池川	菊池川	白石	基準		秋期	0.073	0.0046	0.078	0.078	0.27	0.014	0.29	0.29	
923	九州	福岡県	矢部川	矢部川	船小屋	基準		秋期	0.073	0.0047	0.078	0.078	0.41	0.016	0.43	0.43	
924	九州	佐賀県	嘉瀬川	嘉瀬川	官人橋	基準		秋期	0.085	0.0047	0.090	0.090	0.21	0.013	0.23	0.23	
925	九州	佐賀県	六角川	六角川	瀬見橋	基準		秋期	0.13	0.0047	0.14	0.14	0.81	0.014	0.83	0.83	
926	九州	佐賀県	松浦川	松浦川	久里橋	基準		秋期	0.17	0.0047	0.17	0.17	6.7	0.20	6.9	6.9	
927	九州	長崎県	本明川	本明川	旭町	基準		秋期	0.078	0.0046	0.083	0.083	0.76	0.014	0.77	0.77	

- 過去に要監視濃度を超えてから、8回連続して要監視濃度以下とならなかった地点。
- 網掛けは環境基準を超過、斜体は要監視濃度を超過、-は未測定
- 四捨五入により、(PCDDs+PCDFs)とCo-PCBの和が、評価値と一致しないことがある。

表-40 平成27年度ダイオキシン類に関する実態調査結果（地点数一覧）

基準監視 地点	調査地点数（一般）	123	125
	調査地点数（重点）	8	3
	要監視濃度超過地点数（一般）	0	0
	要監視濃度超過地点数（重点）	5	0
	環境基準超過地点数（一般）	0	0
	環境基準超過地点数（重点）	1	0
補助監視 地点	調査地点数（一般）	83	97
	調査地点数（重点）	11	2
	要監視濃度超過地点数（一般）	0	0
	要監視濃度超過地点数（重点）	6	0
	環境基準超過地点数（一般）	0	0
	環境基準超過地点数（重点）	4	0

表-41 平成27年度内分泌かく乱化学物質に関する実態調査結果

水系名	河川名	調査地点名	重点調査地点 (平成27年度調査)	平成28年度調査 (予定)	重点調査対象物質 ¹	測定値 ^{2,3}					
						採水日	SS mg/	ビスフェノールA μg/	17-エストロゲンオール (LC/MS/MS法) μg/	エストロン (LC/MS/MS法) μg/	o,p'-DDT μg/
北海道						重点調査濃度	24.7		0.0015	0.0016	0.0145
尻別川	尻別川	名駒				10月8日	2				0.0000138
鶴川	鶴川	鶴川橋				11月25日	9				0.0000018
沙流川	沙流川	沙流川橋				11月13日	5				0.0000012
東北											
岩木川	岩木川	乾橋				11月11日	16		0.00034	0.00111	0.000017
	岩木川	三好橋				11月11日	11			0.0009	0.000014
関東											
利根川	綾瀬川	内匠橋			エストロン	10月16日	36			0.0039	
多摩川	多摩川	多摩川原橋			エストロン	10月15日	<1			0.0042	
多摩川	多摩川	田園調布堰			エストロン	10月1日	1			0.0020	
鶴見川	鶴見川	亀の子橋			エストロン	10月15日	3			0.0043	
相模川	相模川	馬入橋			エストロン	10月1日	2			ND	
北陸											
小矢部川	小矢部川	城光寺橋			エストロン	10月8日	1			0.00056	
中部											
菊川	菊川	高田橋			エストロン	10月23日	3			0.0011	
庄内川	庄内川	枇杷島橋			エストロン	10月27日	4			0.0057	
近畿											
由良川	由良川	波美橋				11月6日	1.4	ND	ND	0.00040	0.00000130
九頭竜川	九頭竜川	中角				11月6日	<0.1	0.0140	ND	0.00030	0.0000008
北川	北川	高塚				11月6日	1.2	ND	ND	0.00020	ND
九州											
大分川	大分川	府内大橋				10月13日	4	0.0050	ND	ND	ND
		府内大橋 (二重測定)						0.0070	ND	ND	ND
大野川	大野川	白滝橋				10月13日	2	ND	ND	0.00021	ND
白川	白川	小島橋				10月14日	12	ND	ND	0.00030	0.0013000
緑川	緑川	上杉堰				10月14日	3	ND	ND	ND	0.00070000

- 1 * は過去3回連続して重点調査濃度以下となったため、平成28年度より一般調査に戻す物質。
- 2 網掛けは重点調査濃度を超過。
- 3 空欄は未測定、NDは不検出(検出下限未満)を示す。

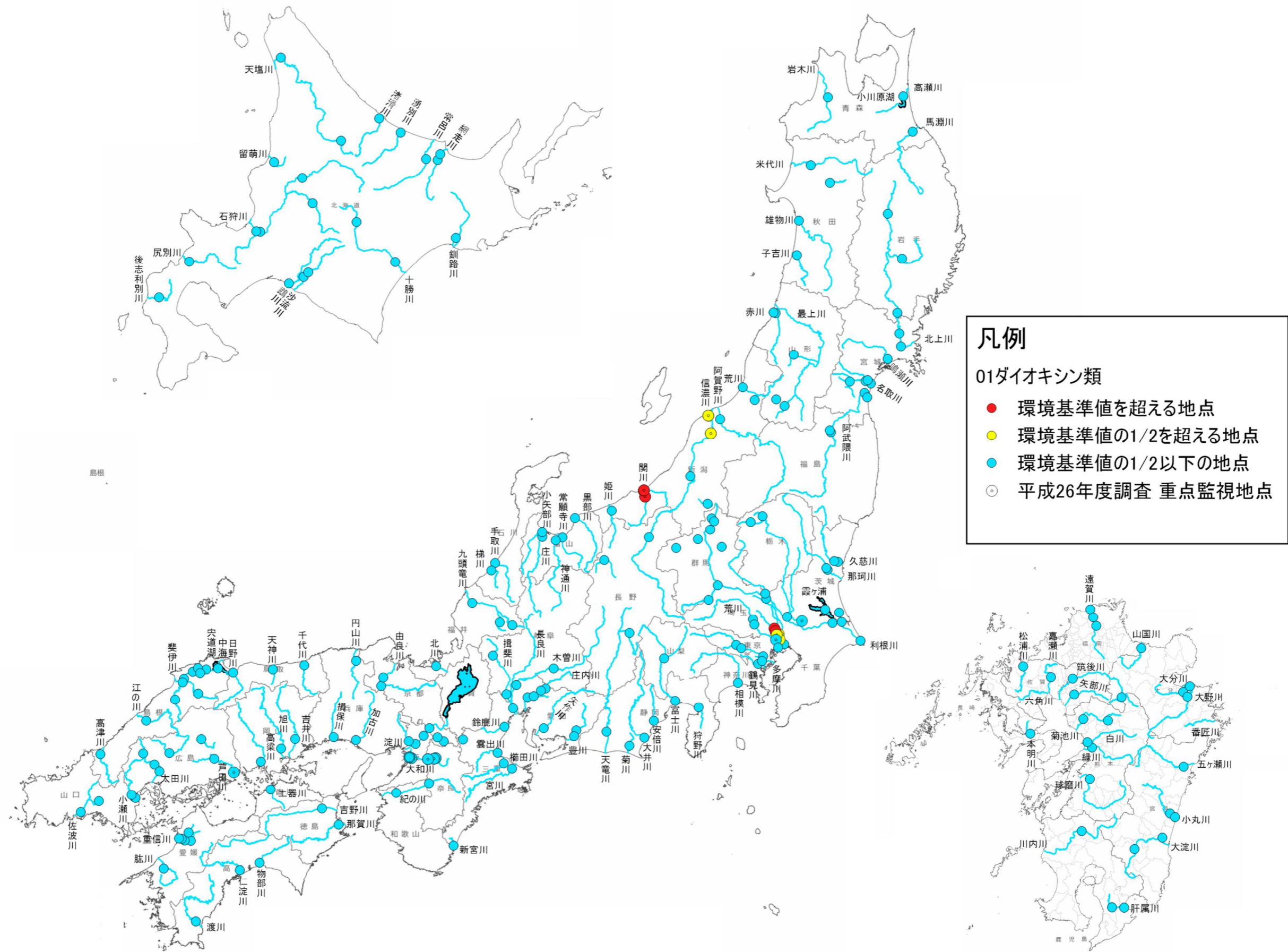


図-48 平成27年度ダイオキシン類調査に関する実態調査地点の全国分布図（水質）

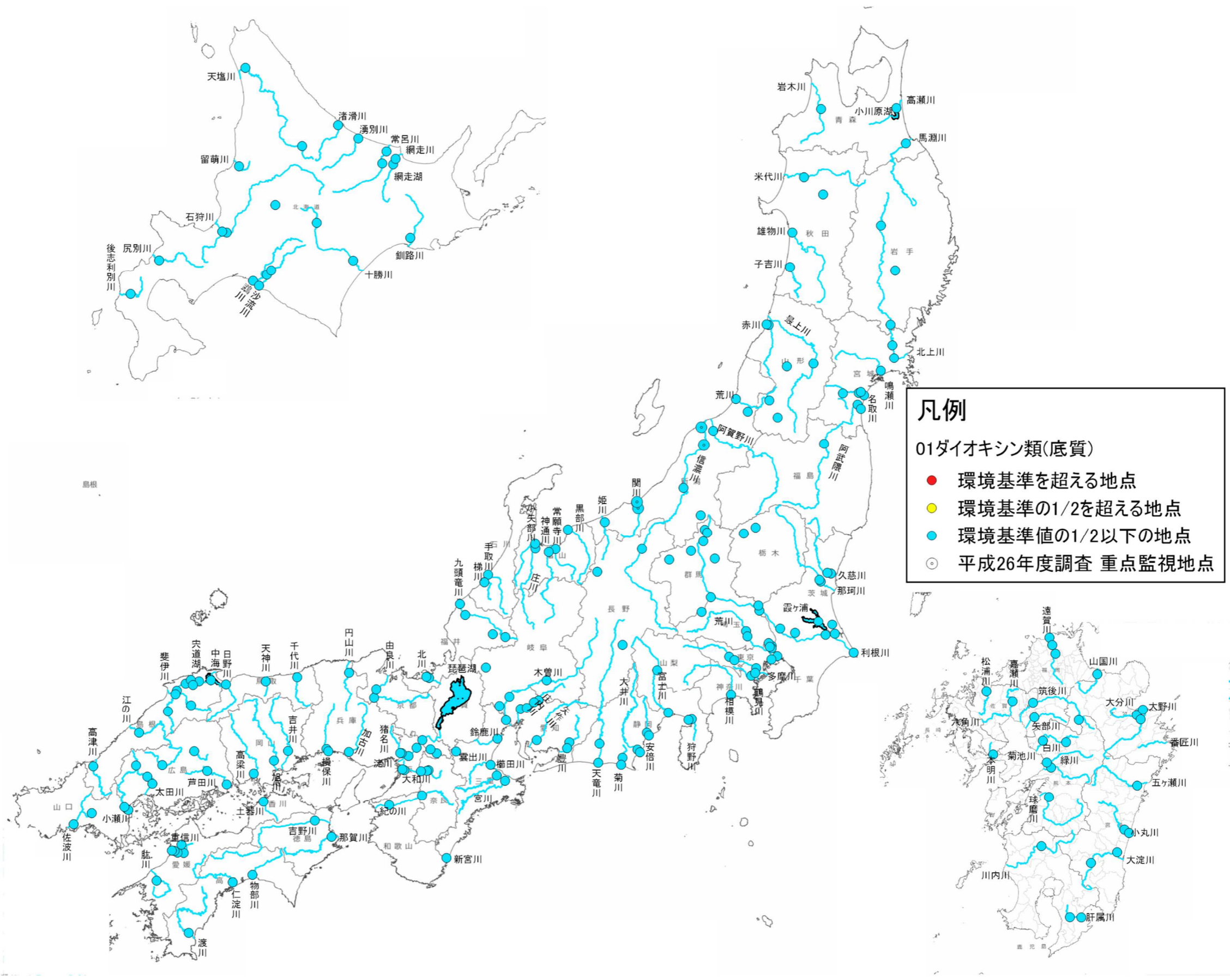


図-49 平成27年度ダイオキシン類調査に関する実態調査地点の全国分布図（底質）

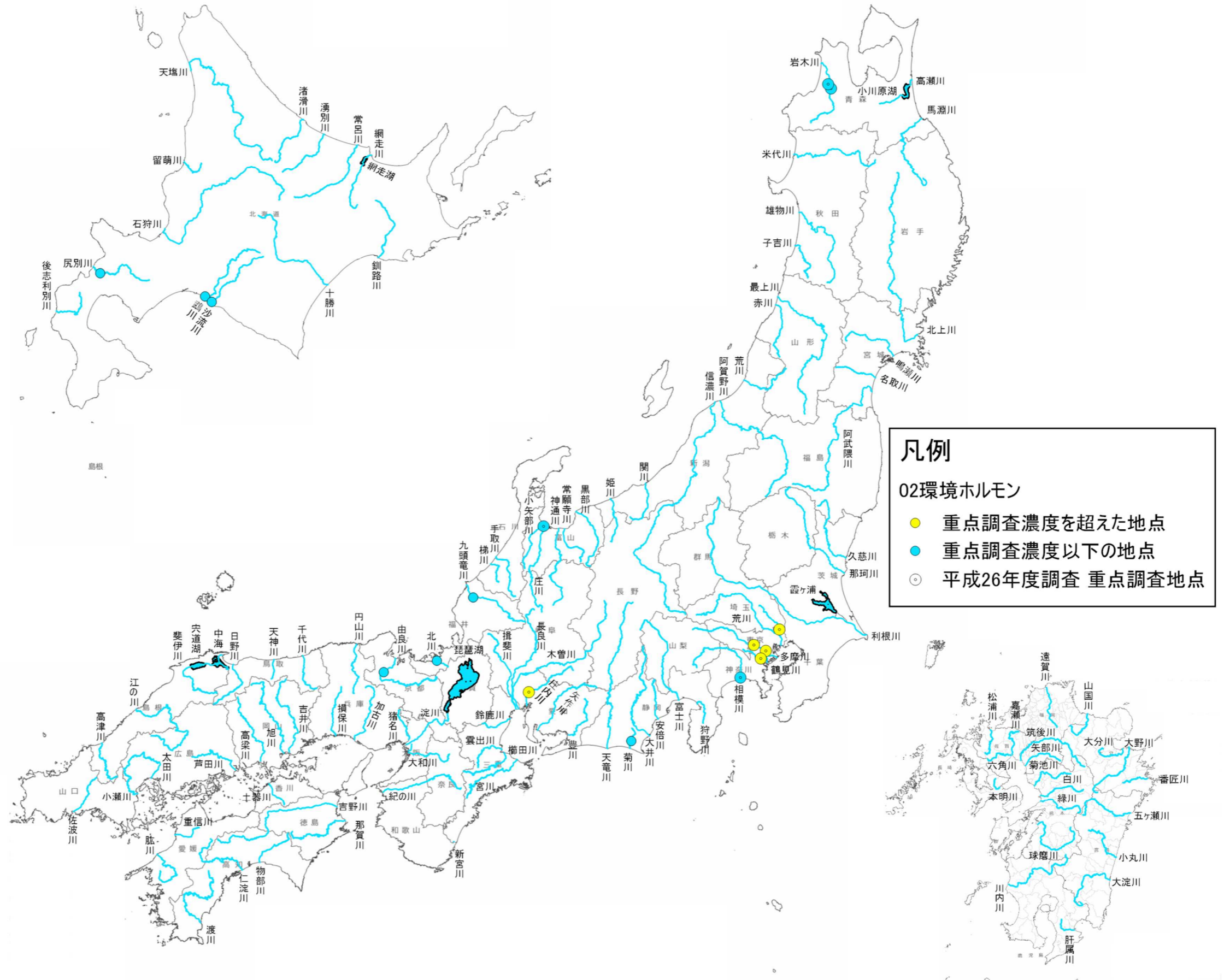


図-50 平成27年度内分泌かく乱化学物質に関する実態調査地点の全国分布図（水質）